

知って当りの前 介護ガイド帳



上原喜光

げましょう。1日だけでも介護を代われれば、どんなに大変なものかが分かります。

1日といっても、何も

できないはず。「おしめはどこにある」から始まって、どこに何があるかささえ妻に聞かないと分からない。在宅介護のつらさを知れば、今後の妻への対応は必ず変わります。もちろん、在宅介護は「家族全員、で行うべき。兄弟の誰かが男性ひとりだけで介護をしている場合は、「兄貴、1日代わろうか」と声をかけてみてください。

大みそかの夜は「今年も一年ありがとう」と感謝の言葉。花束より、ずっと心が休まります。

(全国介護者支援協議会会長)

今年もあと2週間。つい先日、正月を迎えたと思ったのに……。「あつという間」の一年でした。

在宅介護をしていると、季節の変わり目を染しむ余裕はなく、深夜のトイレ介助を経験すれば、朝に起き、暗くなったら眠るという普通の生活もできません。

あつという間に過ぎるのは当然です。この時期に残るのは、疲労感とむなしさばかり。しかも、年末の大掃除やおせち作りがあり、年始の客を迎える準備もあります。

困ったことに、年末年始はデイサービスセンターがお休みのところもある。しかも、兄弟が集まっても、介護は通常通りです。

そこで、年末のこの時期、介護をしてくれている妻、兄や妹に休みをあ

贈り物は「今年もありがとう」

